

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会） ボウリング競技実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技は、全てスクラッチ4ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
- (3) 原則として、ゲームは同一レーン4名までとし、1フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う2つのレーンで10分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定器を使用する。
- (7) オートマチックスコアラーの操作および個人記録カードの記入は、全て審判員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、全て競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をする上でふさわしいものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを胸部および背部に付ける。

4 招集

- (1) 招集は、原則として、開始20分前から指定されたボックスで行い、開始10分前に完了する。
- (2) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権とみなす。

5 開始式・表彰式

開始式および表彰式は、競技会場で行う。

6 その他

- (1) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (2) ボウラーズベンチ内へは選手以外入ることができない。なお、選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず監督またはコーチを通じて競技役員に申し出ること。
- (3) 各選手団において、選手以外にボウラーズエリアに入ることができるのはIDカードをつけた監督またはコーチのいずれか1名のみとし、その範囲は自チームの競技しているボウラーズベンチを除くボウラーズエリア内とする。
また、ボウラーズエリアに入る際は、必ず屋内シューズを着用すること。
- (4) 競技会場のハウスボールおよびハウスシューズを使用しようとする場合は、参加申込書にその旨を記載し、主催者が競技会場において用意する。
ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラーズベンチ

後方の通路で履き替える。

イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後、速やかに元の場所に返却する。

ウ ボールを拭くタオルは、主催者が用意する。

(5) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。

(6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。